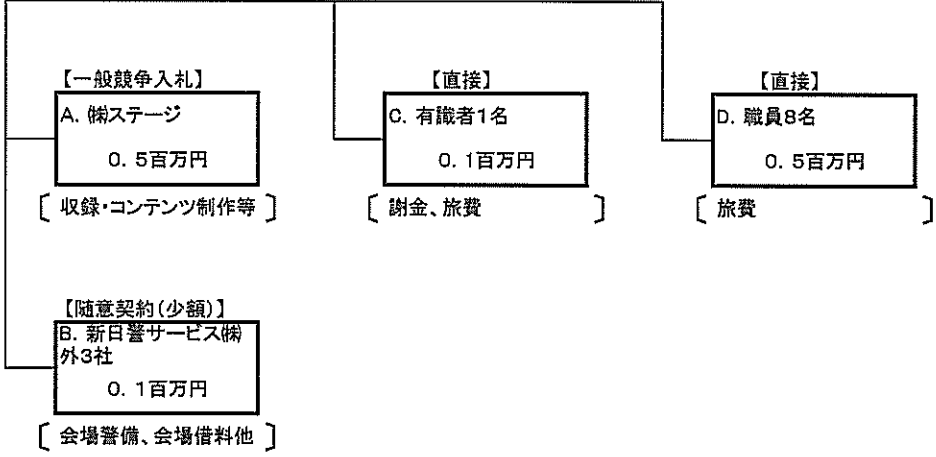


行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	「国民との対話」の実施に必要な経費	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	大臣官房	担当課室	政府広報室	官房参事官 高田 潔		
会計区分	一般会計	上位政策	政府広報・広聴による政府施策の理解、協力の促進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項第39号	関係する計 画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	国民対話は、大臣と国民とが直接、双方向で対話を行うことにより国民の理解を深めるとともに、国民の意見や提言を聴取するためのものである。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国民対話は、簡素な形で開催するとの原則の下、大臣等と国民とが形にとらわれずに直接、双方向で対話を行うものである。					
実施状況	平成21年度は、5月に福岡市において、「利便性の向上や活力ある地域づくりに貢献する科学技術」をテーマに開催した(参加者90名(発言者数11名))。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	89	54	32	20	2
	執行額	18	6	1		
	執行率	20%	11%	4%		
総事業費(執行ベース)	18	6	1			
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	担当者が、国民対話開催当日に会場にて実施状況を確認している。 開催の際に参加者へのアンケート調査により、参加者の国民対話に対する評価を把握している。平成21年度開催では、参加して良かったかの問いに対して「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた割合が9割を超えている。				
	見直しの 余地	平成19年度から、大臣等と国民とが形にとらわれずに直接、双方向で対話を行うこととし、会場等も公的な施設を利用するなど、極力簡素な運営をしている。				
予算監 査・視 察の 所見 率	開催実績や成果等を精査した上で、事業の廃止を視野に入れた抜本的な見直しを図るべき。					
補 記						

内閣府
1百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

(注)四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

A.㈱ステージ		
費目	使 途	金 額 (百万円)
	収録・コンテンツ制作等	0.5
計		0.5
B.新日警サービス㈱		
費目	使 途	金 額 (百万円)
	会場警備、会場借料他	0.1
計		0.1
C.有識者1名		
費目	使 途	金 額 (百万円)
	謝金、旅費	0.1
計		0.1
D.職員8名		
費目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	0.5
計		0.5

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

複数支出先ブロックの内訳

別紙

Bブロックの内訳

支出先	支出額	内容
新日警サービス (株)	0.1百万円	会場警備
(有)福岡速記文化 センター	0.0百万円	速記
福岡市	0.0百万円	会場借料
東田商会	0.0百万円	会議費